

明治八年  
大阪錦画新聞  
第十号

笹本  
ひまふし

大岡越前守  
役者  
阪東彦三郎

東京築地新富町の  
芝居新富座へ評判  
よく天二坊が大當りまで  
出と小彦三郎の大岡越  
前守の役が大當りごととて  
先日も華族の大岡さんより見物み  
いらしと時子大岡さんより彦三郎子贈らまはと歌へ  
此度遠つ親は左務の時刑律を整へことと今の開化の  
御代にあたり其事柄とありまはに守田何がの  
座小て業おぎにあらと見て  
其功すだー昔の花あまどのこるかほりとまろくか糖ーと

新聞錦画



大阪錦画新聞 10号 文庫10-8064-9